

ライブラリ設定の複数作成機能とは・・・

【 今までは 】

ライブラリ制限は1パターン作成

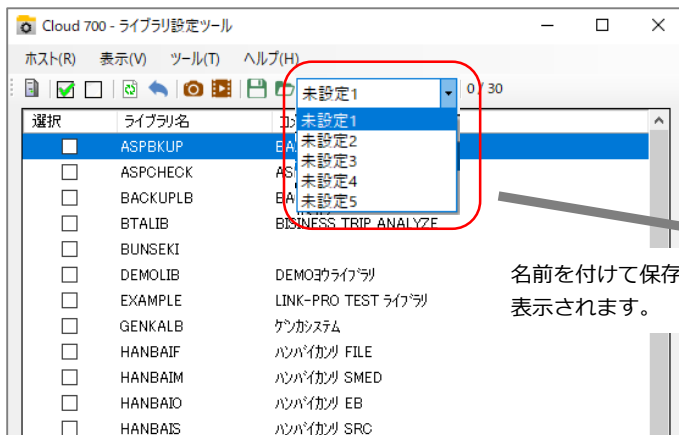
一般ユーザでログインした場合はその制限が有効
XSYSTEMGRでログインした場合は全ライブラリが使用可能

【 これからは 】

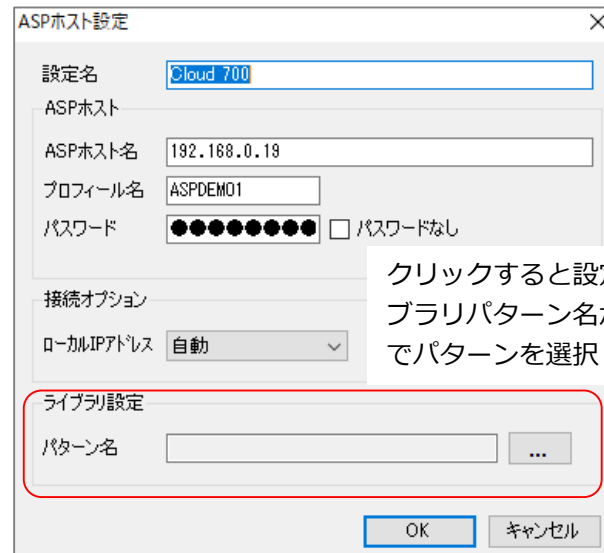
ライブラリ制限は5パターンまで作成可能

ASPホスト設定の指定でライブラリ設定名を指定

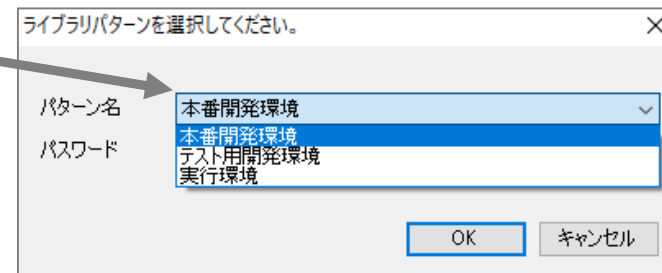
名前を付けて5種類登録できます。



名前を付けて保存したパターン名が表示されます。



クリックすると設定しているライブラリパターン名が表示されるのでパターンを選択

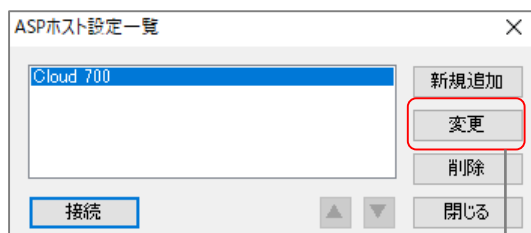


プロフィール名が「XSYSTEMGR」の場合もライブラリ設定が選択できますが、今まで同様全部のライブラリを使用できる「制限なし」が選択可能となります。

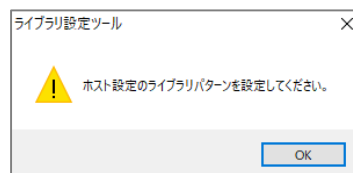
ライブラリ設定パターンの作り方 - 1

「ライブラリ設定ツール」を起動します。

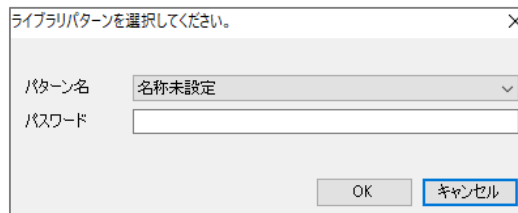
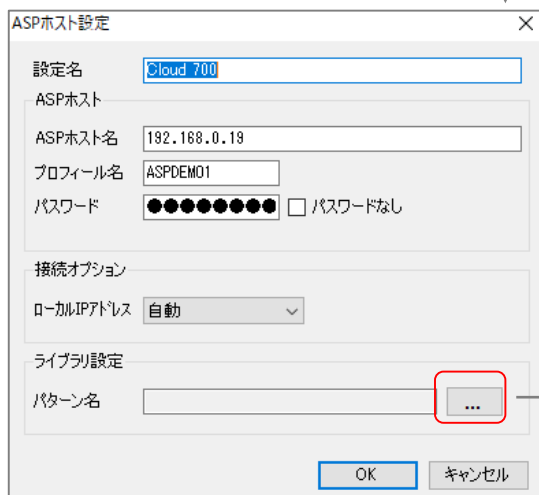
レベルアップ直後はホストの設定が1つでも複数でも、必ずASPホスト設定一覧画面が表示されます。



このまま【接続】するとASPホスト設定でライブラリパターンの指定がないため以下のエラーが表示されます。



【変更】をクリックしてライブラリのパターン設定を行います。



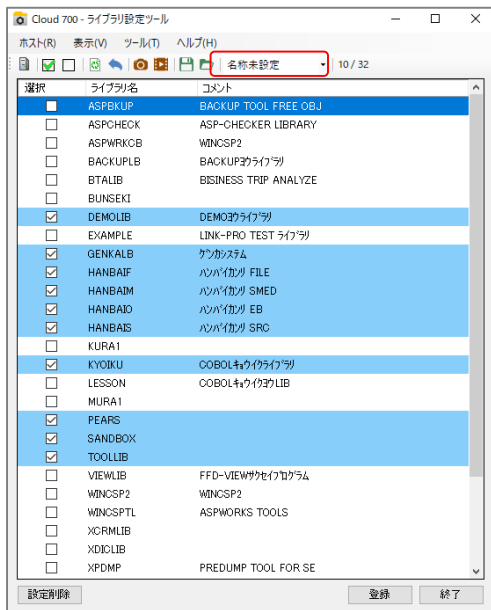
今までライブラリ設定ツールでライブラリのパターンを作成していない場合、プロフィール名に関係なく『制限なし』が表示されます。

ライブラリパターンを作成していた場合は『名称未設定』が表示されます。プロフィールが『XSYSTMNGR』の場合は、『制限なし』と『名称未設定』が、『XSYSTMNGR』以外の場合は『名称未設定』のみ表示されます。

※ASPホスト設定はASPworks IIのすべてのツールで共通です。（同一パソコン内）
ライブラリのパターンを作成したあと、このパターン名を設定し直す必要があります。

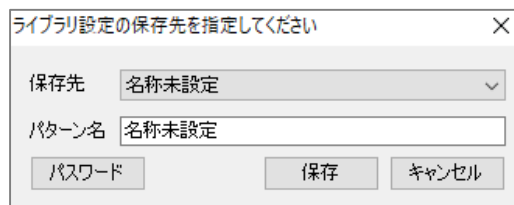
ライブラリ設定パターンの作り方 - 2

ASPホスト設定でライブラリのパターンの設定後ホストに接続します。この時、ライブラリ設定ツールはASPホスト設定に関係なくプロフィール『XSYSMNGR』で接続しますので、『XSYSMNGR』のパスワードを入力します。



レベルアップ前にライブラリの設定をしている場合、左のように『名称未設定』とパターン名が自動で付加されます。

『名称未設定』の名前を変更する場合【登録】すると以下の画面を表示します。また、選択しているライブラリの解除・追加等で変更した場合も【登録】してください。



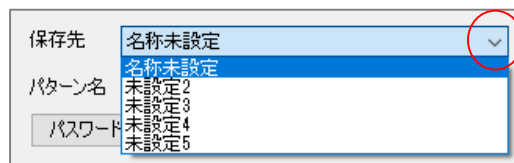
保存先: 現在の名前が表示されます。

パターン名: 新しい名前を入力します。

名前を変更しない場合はそのまま

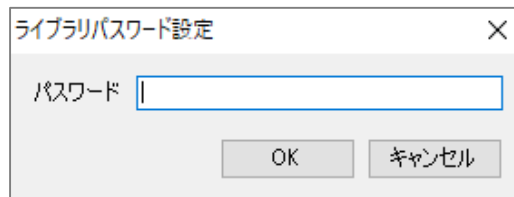
【保存】します。

この時、『保存先』を変更すると新規保存（『名前を付けて保存』と同等の処理）となります。



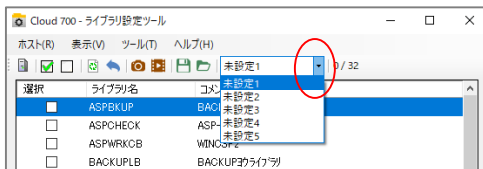
クリックして保存先を選択

また【パスワード】をクリックするとこの設定にパスワードをつけることができます。



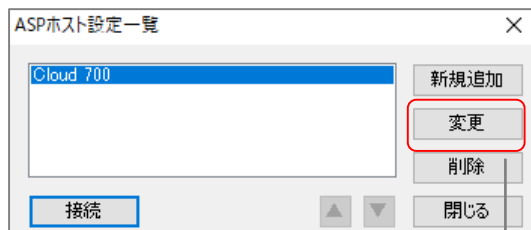
パスワードを設定すると『ASPホスト設定』でライブラリパターンを変更するときにパスワードの入力が必要になります。

新規・修正の場合、プルダウンリストから修正するパターン名または保存するパターン名を選択してからライブラリを選択します。

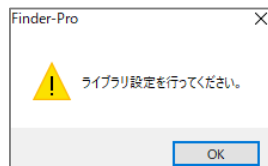


ASPホスト設定でのライブラリパターン設定方法

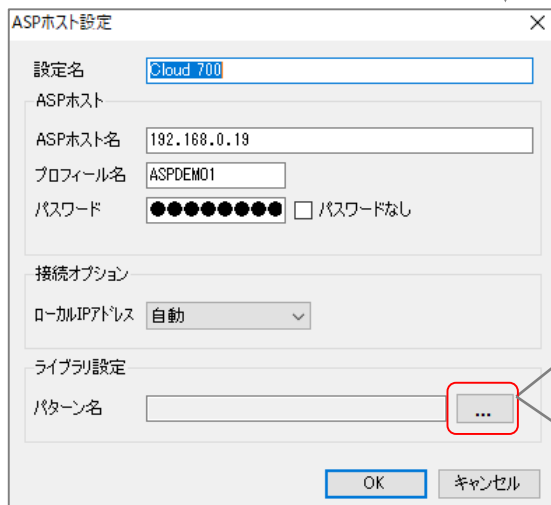
レベルアップ後、ASPworks II のアプリケーションでASPホスト設定を行っていない場合、ホストの設定が1つでも複数でも、必ずASPホスト設定一覧画面が表示されます。



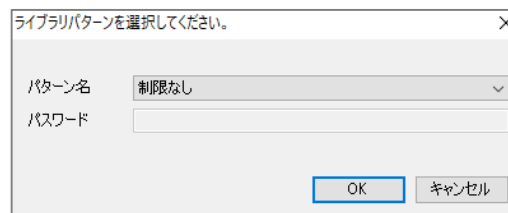
ライブラリのパターンを設定しないまま【接続】すると以下のエラーが表示されます。



【変更】をクリックしてライブラリのパターン設定を行います。



ライブラリのパターンを作成していない場合、『制限なし』が表示されますので『制限なし』を選択して【OK】します。



ライブラリのパターンを作成している場合、プルダウンリストに一覧が表示されますのでその中から選択します。この時、パスワードが設定してあるパターンの場合にはパスワードも入力します。

